

## 事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		○定員を超えて受け入れをしているため、スペースが確保しづらいが、時間等で区切り、部屋を譲り合って使用しています。 ○保育室によってはこれ以上の人数になると、パーソナルスペースが確保できないと思うところはあります。 ○屋上や遊戯室など時間帯を分けて使用し、各クラスがスムーズにクラス運営できるようにしています。 ○遊戯室など回しながら使っています。 ○コーナーを作るなどスペースを区切っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		○職員体制によっては、手薄に感じることもあります。 ○基準は満たしているが一人ひとりに丁寧な関わりをするためには手が足りないと感じることはあります。 ○ゆとりがあるわけではないが、職員間で話し合い、立ち位置を確認したり、子どものその日の様子に合わせて個別対応をしています。 ○必要に応じて他クラスの職員に手伝いに入ってもらったり、ボランティアを活用します。 ○基準の配置に加え課題等によって加配を入れて対応しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		○子の特性に合わせて環境設定をしています。支援会議、OT保育等で担任以外の意見も聞いて改善しています。 ○子どもによっては、分かりにくかったり、使いにくい空間、時間があるかもしれないので、生活や活動の見通しが持てるような視覚支援、スペースを分ける等環境の整備を行っていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		○老朽化もあり、壊れた箇所も年々増えています。パーテーションを使い活動に合わせて空間を仕切るなど工夫を行っています。 ○日々清掃、消毒を行っており、生活と遊びによって設定を変えています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		○気になったこと、心配なこと(対応は良かったのか)等、その都度話すようにしています。 ○知的単独はクラス支援会議を月1回実施し、個々の仕事の量を確認しながら取り組んでいます。 ○安全衛生委員会などで取り上げ確認しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		○アンケートをとりそれぞれに回答し改善すべき点は早急に対応しています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		○自己評価、改善についてホームページに公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○指定管理、評価委員会の評価は受けています
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		○年間通して研修の計画を立て、機会を設けています。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○	○日々子ども達の様子のほか、保護者から聞き取った家庭での様子やニーズをふまえて、担任で話し合いながら作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	○事業団通園施設で統一したものを使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	○本人への支援や家族支援はそれぞれのニーズ(身辺自立や生活力の向上)に合わせた支援を多職種と連携を取りながら行っています。必要に応じて情報交換や共通理解を図るため、関係機関との定例会を実施し、より適切な支援に努めています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	○振り返りとしての時間は取れていない日がありますが、記録を記入する際に話し合うよう意識しています。 ○計画に基づき実施した支援を個人記録を記入し、次の支援に生かしています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	○各クラスのチームで行っています。 ○必要に応じてリーダー間で共有し、意見を出し合っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	○同じプログラムでも回数を重ねるごとに工夫をし、難易度や楽しみ方を変えています。 ○担任間で話し合いながら工夫しています。 ○慣れにくい子もいるため、活動によってはあえて同じものを繰り返す行いもあります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	○集団活動が多くなりがちですが、個々に合わせた参加方法を工夫したり、個々に自立課題を取り入れるようにしています。カリキュラムを作成する時に、集団活動と個別でわかりやすい内容をバランスよく作成するようにしています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○日常的に担任間でコミュニケーションを図るようにしています。 ○バス乗りや、会議などがあると打ち合わせできないことがあるが、ホワイトボードに書いて伝えるなど工夫したり、打ち合わせができなかった職員の把握をしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	○気付いた時のその療育後に話すようにしています。 ○会議、研修、バス乗りなどがあると共有が難しいこともありますが、時間を設けて話し合いができるよう努めています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○個人記録を毎日つけ把握しています。 ○記録は毎日しているが少しでも話すことの方が検証や改善につながりやすいため、とにかく気付いたことは話すようにしています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○気付いた点から話し合う機会が作られています。	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		○必要な時に参加しています。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		○必要に応じて行っています。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		○対象児が在籍するクラスは、就学時などに引き継ぎを行っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		○対象児が在籍するクラスは実施しています。	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		○支援計画やまとめを基に引き継ぎを行っています。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		○支援計画やまとめを基に引き継ぎを行っています。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		○合同研修会を行うなど連携しています。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		○近隣の保育所、幼稚園との交流の機会を設けています。 ○交流の機会を増やせるよう検討します。	
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		○センター内の相談係が参加しています。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		○お便り帳や面談、送迎の際に(内容は)状況に応じて行っています。 ○伝えたいこと、または保護者から相談があった時など、保育後に電話をすることがあります。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		○ペアトレ(Pすてっぷぶち、Pステップ)の実施や個別保育参観を実施し、支援計画をもとに、日々の保育について説明し、関わりについて伝えています。	
		㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		○契約の際に行っています。
		㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		○説明不足などがあり、支援内容では、保護者との一貫した関わりができていないこともありました。 ○定期的な面談時に説明同意を得ています。
㉝		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		○送迎時、電話などで対応することもあります。 ○面談時や懇談会、その他状況に応じ必要な保護者と行っています。	

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○保護者主体ではあるが、役員会に参加しできる限り支援を行っています。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	○相談や求めに応じて、できるだけ迅速に対応しています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	○年間行事予定、カリキュラムを配付している。ホームページ、YouTubeで一部発信しています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	○とても気を付けています。毎月、朝礼で取り扱いやヒヤリハット事例など共有ができています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	○絵カード等子ども一人ひとりに合わせたグッズを用意しています。 ○外国籍の保護者等、情報が伝わりづらいと思われる保護者には別でプリントを用意する等の工夫をしています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	○	○センター主催の西部フレンドフェアにて療育の紹介ができました。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	○防犯訓練、避難訓練等を月に1回実施しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	○月一回、避難訓練を行っています。 ○避難訓練がある日は、災害の内容により、どのように行動するか意識して行動できるように継続的に伝えています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	○年度初め、入園時に行っています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	○除去食の提供、配慮を行っています。 ○アレルギーの数値に関わらず、他児の食事や食べこぼしと接しないよう環境設定をしています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	○ヒヤリハット事例が起こった時には、すぐに全体で共有し、改善、対応策についても検討しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	○職員研修を実施しています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	○契約の際に説明し、個々の状況によっては保護者の同意を得ています。 ○対象児がいれば、組織的に決定、保護者説明、支援計画に記すことになっています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。